

令和元年度事業報告書

社会福祉法人 柏原市社会福祉協議会

◀ 目次 ▶

令和元年度 柏原市社会福祉協議会事業報告	P1
1 法人組織運営	
(1) 理事会・評議員会等の適正運営	P2
(2) 自主財源の確保	P3
(3) 行政、その他関係機関との連携強化	P3
(4) 広報啓発活動	P3
(5) 組織管理体制	P3
(6) 災害対策	P4
(7) 安全衛生委員会の運営	P4
(8) 柏原地区共同募金会の運営	P4～P5
(9) 柏原市立老人福祉センター（指定管理）の運営	P5
(10) 善意銀行・福祉基金の運営	P5～P6
(11) 社会福祉士の実習、インターンシップの受け入れ	P6
2 笑顔の種まきプロジェクトの継続	
(1) 個別支援活動からの支援体制づくり	P6～P9
(2) 小地域ネットワーク活動の基盤整備と活動支援	P9～P10
(3) 多機関との連携協働事業	P10～P11
(4) 社会資源の発掘活用支援	P11～P13
(5) 事務局機能の強化による活動支援	P13～P14
3 地域包括支援センター	
(1) 介護予防ケアマネジメント業務	P14
(2) 総合相談支援事業	P14～P15
(3) 権利擁護事業	P15～P16
(4) 継続的、包括的マネジメント業務	P16～P18
4 高齢者対策の強化	
(1) 健康寿命の延伸	P18～P19
(2) 認知症対策の強化	P19～P20
(3) 介護者支援の充実	P20～P21
(4) 団体活動の支援	P21
(5) 地域見守りネットワークの構築	P21
5 「介護・障害福祉サービス事業のあり方検討委員会」の継続	P22
6 介護保険事業	
(1) 居宅介護支援事業	P22～ P23
(2) 訪問看護事業	P23～ P24
(3) 訪問介護事業	P24～ P26
7 障がい者支援事業（委託）	
(1) 柏原市療育教室	P26～ P27
(2) 肢体不自由児訓練事業	P27
8 障害福祉サービス事業（自主事業）	
(1) 生活介護	P27～ P28
(2) 児童発達支援	P28
(3) 就労継続支援B型	P28
(4) 指定特定相談支援・障害児相談支援	P28

令和元年度 柏原市社会福祉協議会事業報告

大災害や人口減少などこれまでになかった経験をした平成から令和へと移りゆく節目の年でありました。平和を願いつつ迎えた新時代であったはずが、新型コロナウイルス感染症問題が発生し全世界が不安と混乱に陥りました。

本会におきましても「ふれあい広場 福祉講演会」をはじめ各分野多くの行事が感染拡大防止のため中止を余儀なくされました。

このような、不安な社会情勢の中ではありますが、基本理念「みんなで支えあう 心ふれあう やすらぎのまち」を目指し、「地域共生社会」を実現に向けた取り組みなど、住民一人ひとりが住み慣れた地域で、安心して生活を続けていくための施策など地域福祉活動を強化してまいりました。

本会では、第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、地域ごとの福祉課題の把握と解決に向けた取り組みを進めるため、また、第4次地域福祉活動計画策定に向け、住民アンケートや地区懇談会の機会を設けるとともに、さまざまな生活課題を抱える方に対する相談支援事業にも取り組みました。地域づくりが主要な政策課題の時代となった今、社協のガバナンスを高め、組織基盤や財政基盤をより強化し自立した法人経営を行うことが求められます。組織強化においては職員の育成の強化を図るため今年度初めて人事評価制度を試行しました。また大規模な災害にも対応するため取り組みを進めていた「大規模地震災害と豪雨災害等に対応するための社協事業継続計画書」を完成させました。財政基盤強化では当法人の事業方針を打ち出すため実施した介護保険サービス・障害福祉サービス事業あり方検討委員会で、両サービスのさらなる充実を図る中、財政上運営が困難である児童発達支援事業を廃止することになりました。

社会福祉協議会を取り巻く現状は大変厳しい中ではありますが、実践した詳細な事業実施内容は次のとおりです。

1 法人組織運営

(1) 理事会・評議員会等の適正運営

《理事会の開催状況》		
開催年月日	場所	審議内容
5月29日（水）	柏原市立健康福祉センター	1 平成30年度事業報告 2 平成30年度決算報告 3 新役員候補の選出 4 福祉基金積立資産国債の売却及び買付 5 善意銀行の払い出し 6 令和元年度第1回評議員会開催
6月19日（水）	柏原市立健康福祉センター	7 正副会長及び常務理事の選定 8 介護保険・障害福祉サービス事業あり方検討委員会の委員選出 9 評議員の選任及び評議員選任・解任委員会の招集 10 善意銀行の払い出し
10月30日（水）	柏原市立健康福祉センター	11 定款の変更 12 特別賛助会員新規会員入会 13 善意銀行の払い出し
3月17日（火）	（書面承認）	14 令和元年度補正予算 15 職員給与における管理職手当・管理者手当 16 児童発達支援事業の廃止 17 令和2年度事業計画 18 令和2年度予算 19 第三者委員の選任同意 20 特別賛助会員新規会員入会 21 善意銀行の払い出し 22 令和元年度第2回評議員会について

《評議員会の開催状況》		
開催年月日	場所	審議内容
6月19日（水）	柏原市立健康福祉センター	1 平成30年度事業報告 2 平成30年度決算報告 3 役員の選任
3月27日（金）	（書面承認）	4 定款の変更 5 令和元年度補正予算 6 令和2年度事業計画 7 令和2年度予算

《監事監査の開催状況》		
開催年月日	場所	監査内容
5月13日（月）	柏原市立健康福祉	決算監査

センター
* 評議員選任・解任委員会の開催：令和元年7月8日（月）10時30分～

(2) 自主財源の確保

① 会員会費

種類	件数	金額
組織構成会費（正会員）	33件	846,000円
特別賛助会費	100件	809,000円
住民賛助会費	21,980件	8,955,900円
合 計		10,610,900円

《各団体への特別賛助会員加入活動》

オガタ通り商店会役員会：9月6日（金）

柏原市医師会定例会：9月28日（土）

大阪柏原ロータリークラブ定例会卓話「地域における社協の役割」：12月17日（火）

② 有料広告掲載事業

社協の広告媒体に民間企業等の広告を有料掲載し、社協の新たな財源確保とともに地域経済の活性化と市民サービスの向上を図ることを目的として実施した。

社協かしわら……広告2回（阪南システムマシン株式会社2回）

ホームページ……広告10回（株式会社アドバンスドテクノロジー10回）

(3) 行政、その他関係機関との連携強化

柏原市の予算編成説明会に参加、適正な予算要求に努めヒヤリングの結果、補助金・受託金を確保した。

(4) 広報啓発活動

○社協かしわら発行（年2回 全戸配布）

○ホームページの更新

○フェイスブック……更新 33回 フォロワー数 238名

(5) 組織管理体制

① 苦情対応実績

① 第三者委員の活動状況	
相談件数	0 件
社協への申立後の対応	0 件
第三者委員への直接の申立による対応	0 件
② 福祉サービス苦情解決相談設置事業	
相談件数	21 件

② 人事評価制度の運用試行開始

令和元年10月1日施行「人事評価規程」に沿い、人事評価制度の試行を開始し、一定期間ごとに職員の職務遂行度、職務行動及び職務能力を一定期間ごとに分析し、評価した。

第1回人事評価検討会議：令和2年2月17日（月）～2月20日（木）

実施人数：46名

③ 人権研修の実施

個々の人権への意識を高めるために、研修会の実施や市の研修に参加した。

○社内研修内容 「ワークライフバランス（仕事と生活の調和）の効果」

○参加人数 63名

(6) 災害対策

以下については、災害担当プロジェクトメンバーを中心として活動した。

○災害プロジェクト会議開催：計7回（5月、7月、9月、10月、11月、1月、2月）

①社協事業継続計画（BCP）の完成

○「大規模地震災害と豪雨災害等に対応するための社協事業継続計画書」（第1版）を令和2年3月31日策定した。（令和2年度より実施）

②「エココミュニティ・プラットフォームを活用した地域福祉活動支援モデル事業」

○令和3年度本格実施へ向け、システム操作訓練を実施した。（3回）

③防災啓発事業等への協働参加

○柏原市災害廃棄物情報共有会議の参加

日時：11月19日（火）

○三市（柏原市・羽曳野市・藤井寺市）社協災害担当者会議による協働事業

三市社協合同災害ボランティア養成講座：11月9日（土）

○関西福祉科学大学主催「令和元年度避難所運営演習」の参加協力

日時：12月10日（火）13時～16時

○大阪府立柏原東高校主催「防災研修」の講話協力

日時：12月13日（金）13時～14時30分

テーマ：災害時のボランティア活動について

④災害による職員派遣

○「令和元年度台風19号」の被災地支援として、河南ブロック市町村社協連絡会被災地支援（ボランティアバス）を利用し、職員2名を派遣した。

派遣先：長野市北部災害ボランティアセンター

派遣日：11月15日（金）～11月17日（日）

(7) 安全衛生委員会の運営

労働者の危険または健康障害を防止するために、安全衛生委員会を設置し労働災害の予防再発防止対策等を定期的に審議した。

○委員会の開催 月1回 定期開催

(8) 柏原地区共同募金会の運営

実施者 柏原地区共同募金会 期間 10月1日～12月31日

協力 柏原市区長会、柏原市民生・児童委員協議会、柏原市ボランティア連絡会、柏原市内小中学校他

○共同募金

実績額			
街頭募金	160,895円	学校募金	153,682円
法人募金	776,638円	バッジ募金	449,500円
戸別募金	3,233,740円	その他	167,592円
職域募金	291,955円		
合計			5,234,002円

○歳末助け合い募金

協力：ボーイスカウト柏原第3団、Y.Kホットフォーラム、大阪東部ヤクルト販売株式会社

期 間：12月1日～12月31日 実績額：合計 110,335円

配分先：柏原市社会福祉協議会

○赤い羽根共同募金協力型自動販売機 1台設置

場 所：ほのぼのかたしも（平野1-12-1）

○赤い羽根共同募金365日募金箱設置

場 所：柏原市社会福祉協議会（大県4-15-35）

柏原市立老人福祉センター（旭ヶ丘1-9-30）

柏原市立自立支援センター（本郷3-9-62）

宮脇書店（堂島町2-20）

（9）柏原市立老人福祉センター（指定管理）の運営

センター利用状況

月	開所日	利用者数(人)	一日平均(人)
4月	24	3,290	137
5月	22	2,949	134
6月	25	3,213	128
7月	26	3,510	135
8月	26	3,095	119
9月	23	3,419	148
10月	13	1,484	114
11月	24	2,164	90
12月	23	1,988	86
1月	22	1,981	94
2月	23	1,779	77
3月	2	194	97
合計	253	29,066	

○施設設備の改修困難により、11月15日をもって入浴利用中止

○新型コロナウイルス感染症予防対策として3月4日以降、休館

○リサイクル資源の回収協力福祉施設

・段ボール回収……柏原子ども教室☆い・ち・み☆

・アルミ缶回収……夢工房くるみ

○実習生受け入れ……1名

（10）善意銀行・福祉基金の運営

①善意銀行

善意銀行は、市民からの善意の預託を受ける窓口。金員、物品とも指定された施設、団体に払い出した。

○預託等の状況

預託	金額	払い出し	金額
前年度繰越金	0円	柏原市社会福祉協議会	613,598円
預託金品	668,598円	くるみ福祉会	30,000円
利息	0円	柏原市社会福祉協議会（払出予定）	25,000円
合計	668,598円	合計	668,598円
次年度繰越金			0円

②福祉基金

地域に根ざした在宅福祉サービス事業、ボランティア事業を展開し、地域福祉の増進に寄与することを目的に基金を設置し、その果実を運用した。

基金設置日 昭和60年12月6日 前年度末基金積立額 322,275,971円
 本年度末基金積立額 322,319,206円

寄付金及び基金果実		払い出し	
本年度受付寄付金	0円	基金積立	43,235円
基金果実	1,502,442円	法人	1,502,442円
(国債購入時額面差額)	43,235円		
合計	1,545,677円	合計	1,545,677円

(11) 社会福祉士の実習、インターンシップの受け入れ

①社会福祉士実習受け入れ

社会福祉士有資格者数：16名(実習指導者研修修了者7名)
 相談援助実習：3大学1専門学校 5名(1人あたり180時間)

②短期インターンシップ受け入れ

31年度の応募なし

2 笑顔の種まきプロジェクトの継続

(1) 個別支援活動からの支援体制づくり

①コミュニティソーシャルワーカー(CSW)のコーディネート機能強化

CSW・COW(コミュニティワーカー)合同会議に大阪教育大学の新崎教授をスーパーバイザーに迎え、地域支援の視点を取り入れたケース検討を実施した。また、地域生活課題の抽出を目的とし、市内2,000名を対象とした「住民実態調査」や国分地区「住民懇談会」を行った。

【相談支援実績】

相談対象者	相談者延人数	相談者数	
高齢者	575	475	402
(うち)一人暮らし	485	398	335
(うち)高齢者のみ	90	77	67
障がい者	643	327	107
(うち)身体	30	23	12
(うち)知的	267	70	17
(うち)精神	346	234	78
子育て中の親子	183	117	51
ひとり親家庭の親子	187	113	50
青少年	90	35	14
外国人(中国帰国者含む)	36	12	4
その他	370	256	151
合計	2,084	1,335	779

【内容別】

相談内容	のべ件数	相談者数
福祉制度・サービスに関する相談	666	550
生活に関する身近な相談	555	319
健康・医療に関する相談	319	221
生活費に関する相談	368	273
就労に関する相談	163	121
財産管理・権利擁護に関する相談	36	21
DV・虐待に関する相談	6	6
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	60	51
住宅に関する相談	82	56
子育て・子どもの教育に関する相談	114	85
その他	230	175
合 計	2,599	1,878

(相談内容は重複あり)

②日常生活自立支援事業による権利擁護機能の強化と広報活動強化

認知症高齢者や知的・精神障がい者などで判断能力の不十分な方に福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理及び書類保管サービスを利用してもらえるよう福祉施設など訪問活動を行い、昨年度に比べ契約件数が増加となった。

【相談支援実績】

内容 対象者 事項	本事業の利用に関するもの				合計
	認知症高 齢者等	知的障がい 者等	精神障がい 者等	不明・ その他	
a. 問い合わせ数	13	3	18	1	35
b. 初回相談数	4	1	9	0	14
c. 相談援助件等 (専門員による訪問含む)	274	115	769	0	1,158
合計	291	119	796	1	1,207

【契約者数等】

対象者 内容	認知症高 齢者等	知的 障がい者等	精神障が い者等	その他	生活保護 (再掲)	合計
① 利用者数	22	9	30	0	25	61
② 新規契約者数	3	0	6	0	5	9
③ 契約終了者数	0	0	3	0	2	3
④ 年度末利用者数 (①+②-③)	25	9	33	0	34 (年度途中変 更含む)	67

【訪問回数】

1,679回（延べ回数） 左記の内、生活保護受給者支援回数 800回

③柏原市生活困窮者自立支援事業の拡充

今年度より新たに家計相談支援事業を受託し総合生活相談として対象を広く捉え伴走支援を行った。

【相談支援実績】

新規相談件数	内訳		
	相談のみ	他機関に繋ぐ	プラン作成
231	73	49	109

【法に基づく事業等利用件数】

住居確保給付金	一時生活支援事業	家計相談支援事業	就労準備支援事業	就労訓練事業	自立相談支援事業による就労支援
1	0	69	13	0	43

【生活困窮者自立相談支援事業（法律相談）】

相談受付件数	受任件数	相談件数（述べて件数）
33	5	128

④柏原市障害者基幹相談支援センターによる相談体制の強化

障がい者やその家族に対し、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談、障がい福祉サービスの情報提供等、地域における生活支援を実施した。

【一般相談件数 月別件数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	73	85	84	81	66	78	52	72	79	55	54	90	869

【支援方法】

方法	訪問	来所	同行	電話・FAX	メール	個別支援会議	関係機関	その他
件数	202	145	70	439	2	15	69	10

【障がい別】

種別	身体	知的	精神	発達障がい	高次脳機能障がい	その他
件数	33	212	456	56	5	144

* 重複障がいのケースは、それぞれの障がい（知的と精神の重複の場合は「知的」及び「精神」）に計上する。

【内容別（相談内容に含まれるものは、すべてカウント）】

内容	件数	内容	件数
福祉サービスの利用に関すること	143	家計・経済に関すること	93
障がいや病状の理解に関すること	15	生活技術に関すること	69
健康・医療に関すること	140	就労に関すること	26
不安の解消、情緒安定に関すること	190	社会参加・余暇活動に関すること	45

保育・教育に関すること	57	権利擁護に関すること	58
家族関係・人間関係に関すること	63	その他	186

【計画相談（指定特定相談支援、障がい児相談支援、地域定着）】

指定特定相談支援	障がい児相談支援	地域定着支援
146	36	0

⑤ピアカウンセラー相談業務（視覚障がい 毎月1回）

- ・ピアカウンセラーによる出張講演（年9回）
- ・ピアセンター職員による出張講演（年1回）
- ・障がい者週間啓発（柏原駅・国分駅）

⑥こころの健康講座

開催年月日	内容	参加者
10月29日	「おいしいですか？そのお酒」アルコール関連問題	52

⑦大阪府生活福祉資金貸付事業（府社協委託）

国と大阪府が出資し低所得者・高齢者及び障がい者等の世帯を対象に低利で必要な資金を貸付し、安定した生活を営むために利用できる制度の活用支援を実施した。

	件数	金額
緊急小口資金	5件	580,000円
総合支援資金	0件	0円
教育支援資金	4件	2,965,000円
生活福祉資金	3件	461,000円
合計	12件	4,006,000円

（2）小地域ネットワーク活動の基盤整備と活動支援

住民一人ひとりが福祉活動に参加して、地域の中の助け合いを育てていくための住民組織としておおむね小学校区を単位とし、現在9地区に設置されており福祉のまちづくりのため、それぞれの地区に応じた活動を展開している。

① 地区福祉委員会研修会の開催

研修名	実施日	場所	参加人数
合同地区福祉委員会 全体研修会	6月26日	オアシス 地域交流ホール	62名
子育て支援活動意見交換会	7月26日	オアシス 講座室	25名
広報活動意見交換会	8月27日	オアシス 講座室	18名
地区福祉委員会管外研修会	9月25日	京都府長岡京市方面	20名
ふれあいサロン活動意見 交換会	10月25日	オアシス 地域交流ホール	30名
地区福祉委員会講習会	12月10日	オアシス 地域交流ホール	52名
のべ参加者数			212名

②地区福祉委員会委員長連絡会の開催

開催年月日	内容
-------	----

5月20日	委員長連絡会会長及び副会長の選出、理事及び評議員の選出、年間行事について、柏原警察より「友愛訪問時の同行訪問のお願い」
7月22日	管外研修会について、地区福祉委員会単独・合同研修の意見交換、大阪府下の地区福祉委員会活動等の状況調査まとめ（情報提供）
1月20日	令和2年度年間行事について、令和元年度大阪府社会福祉大会表彰の報告、市立柏原病院出前講座について

③「ほのぼのかたしも」利用実績

地域住民で構成されたほのぼのかたしも運営委員会の地域福祉活動の自主運営を支援した。

開所日	のべ入館者数	のべ足湯利用者数
223日	7,139名	1,249名

事業	回数	のべ利用者数
ケアカフェ	5回	124名
AED講習会	1回	24名
避難訓練	2回	68名
みんなーほのぼの食堂	2回	72名
合計	10回	288名

④友愛訪問事業・愛の一声訪問事業（共同募金）

- ・友愛訪問事業：訪問者数：のべ17,400名
- ・愛の一声訪問事業：対象者数：のべ917名 年間配布本数：84,364本

⑤地区活動から個別支援へニーズの掘り起こし

「COW実践記録」を導入したことにより地域支援の可視化を図った。

⑥第31回社会福祉法人柏原市社会福祉協議会「柏原ふれあい広場」福祉講演会（中止）

令和2年2月24日開催（予定）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

（3）多機関との連携協働事業

①柏原市民間社会福祉施設連絡会（地域貢献委員会）（事務局）

【各種会議】

名称	回数	内容
役員会	1回	事業報告、決算報告、事業計画、予算
実務担当者委員会役員会	5回	大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進助成事業について
実務担当者会議	4回	生活支援事業について

【大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進事業】

内容	開催年月日	参加
富田林市社会福祉協議会 子どもの居場所づくり」サポーター養成講座の 視察	8月19日	15名

令和2年2月24日開催予定「柏原市民間社会福祉施設連絡会フォーラム」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

② 柏原市生活困窮者支援会議・部会の運営（委託）

		内容	回数
1層	就労支援部会	ステップ就労の機能拡大	2
	こども若者支援部会	不登校と引きこもりの一体支援	3
	民間支援部会	制度の狭間の支援の強化	3
2層	定例会議	毎月第2、第4水曜日に開催	24
3層	全体会議	柏原市生活困窮者支援会議で抽出された課題についてネットワーク方式で関係機関を招集し開催	1

地域共生社会の実現に向けた柏原市や関係機関との包括的な相談支援体制の整備することを目的に開催。

③要援護者食糧等分配支援事業による切れ目のない支援

件数	内訳			
	高齢者世帯	障がい者世帯	ひとり親世帯	低所得世帯
41件	23	2	3	13

フードバンクおおさか・大阪いずみ市民生活協同組合とのそれぞれの協定に基づき、食料分配を行った。

④第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理

評価項目： 0 廃止、変更となった 1 取り組んでいない 2 取り組み準備をしている 3 現在取り組んでいる 4 達成した。終了した

項目	単年度評価点
福祉サービスの適切な利用の促進	2.8
社会福祉活動の支援	2.9
地域福祉への住民参加の促進	2.9
住民の生活課題の発見と対応に関する方策	2.9
総合的な地域福祉の推進	2.8

(4) 社会資源の発掘活用支援

①柏原市ボランティア・市民活動センターの充実（補助）

ボランティア活動の普及啓発、情報提供、相談、講座、研修、活動支援を実施し、誰にでも分かりやすく、親しみやすいセンター事業の運営に努めた。

【登録状況】

グループ（78グループ）	個人登録	合計
1,704名	14名	1,718名

【依頼状況】

福祉関係	社協	行政機関	団体	学校	地区福祉委員会	その他	計
73件	8件	16件	23件	63件	2件	185件	73件

【ボランティア・市民活動センター会議】

開催年月日	内容	参加者
4月23日(総会)	総会にて新たに3団体が連絡会に加入する。	24団体

【ボランティア講座】

開催年月日	内容	参加者
8月3日(土) 9月20日(金)	「子どもの料理教室・男の料理教室体験」 (ヘルスMかしわら)	15名
7月20日(土) 8月17日(土)	「お話体験講座」 (てんとう虫の会)	20名
8月5日(月) 8月6日(火)	「朗読ボランティア体験」 (やまとがわ)	14名
8月22日(木) 8月29日(木)	「災害ボランティア体験講座」 (災害ボランティアコーディネーター会)	20名
8月7日(水) 8月28日(水)	「手芸体験講座」 (コスモスの会)	5名

【ボランティア表彰】

大阪府社会福祉ボランティア表彰 (配食ボランティア 5名)

【ボランティア相談会】

毎月第2金曜日 13時30分から15時30分 柏原市立健康福祉センター
相談会以外の日にも随時相談に応じた。

【令和元年度「大阪府市町村ボランティア連絡会総会・講演会」参加】

開催日：5月22日(水)

場 所：大阪社会福祉指導センター 5階ホール

内 容：総会、第二部の講演会にて「ボランティア連絡会とボランティアセンターの協働」について、柏原市の取組を報告する。

【朗読ボランティア河南ブロック代表者会議参加】

開催日：10月4日(金)

場 所：すばるホール(富田林)

内 容：河南ブロック朗読ボランティア情報交換会へ3名(事務局含む)参加

②くらしのサポート・サービス事業の拡充と安定運営

同じ地域に住む住民同士“互いに助け合っていこう”という共助の趣旨のもと、PR媒体を増やし事業周知を行い会員増強に努めた。

【会員数及び活動状況】

(カッコ内は実働数)

	依頼会員数	協力会員数
平成30年度	387	88(51)
令和2年3月末現在	409(59)	97(30)

【活動実績】

依頼件数	マッチング件数	活動回数
67件	39件	1,922回

③かしわらファミリー・サポート・センター事業の顧客満足度の向上

本事業により、育児の援助を行いたい人と、育児の援助を受けたい人を組織化し、相

互援助活動に関するコーディネート、アドバイス等を行った。

【会員数及び活動状況】

依頼会員数	援助会員数	合計
326	89	415

【実績】

内 容	回 数
保育所・幼稚園の登園前の預かり	1
保育所・幼稚園の送り	42
保育所・幼稚園の迎え	65
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	54
学童の送り	0
学童の放課後の迎え	0
学童の放課後の預かり	66
放課後児童クラブの迎え	92
放課後児童クラブ終了後の預かり	109
子どもの習い事等の援助	29
保育所・学校等休み時の預かり	38
施設入所前の援助	0
病気回復期の預かり	1
保護者の就労・求職活動中・臨時的就労の場合の援助	0
冠婚葬祭や学校行事に伴う援助	1
保護者等の外出の場合の援助	5
保護者の病気、その他急用の場合の援助	7
その他	90
合 計	600

④点字広報等発行、点訳・朗読、要約筆記奉仕員養成講座の実施(委託)

【講座開催状況】

開催年月日	内容	参加者
6月23日～9月1日	要約筆記奉仕員養成講座(全10回)	4名
8月19日～9月9日	朗読ボランティア養成講座(全4回)	6名
10月17日～12月19日	点訳ボランティア入門講座(全10回)	4名
1月16日～2月6日	点訳ボランティアパソコン講座(全4回)	1名

【点字広報等発行】

年12回毎月発行

(5) 事務局機能の強化による活動支援

①子どもの学習支援事業(委託)

柏原市が開始した子どもの学習支援事業の学習補助員(学生)のコーディネート業務を受託、5名の子どもに対し11名の学習補助員配置調整を行い延べ116回学習支援に参

加した。

②柏原市民生・児童委員協議会

民生児童委員の円滑な活動を支援するために、主に下記の内容を実施した。

【各種会議】

正副会長	11回	役員会	10回
定例会	10回（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月中止）		
会計監事監査	4月23日		
総会	5月14日、12月2日		

③柏原市ボランティア連絡会

ボランティア連絡会代表者会議の開催 毎月1回

開催年月日	内容	参加者
4月23日（総会）	総会にて新たに3団体が連絡会に加入する。	24団体

④柏原市障害者自立支援協議会

開催年月日	内容	参加者
7月18日	第15回全体会	33名
9月6日	定例会研修「大規模災害時の事業継続計画と障害者支援」	37名
2月10日	第16回全体会	32名
3月4日	定例会研修「事業継続計画作成グループワーク」 *新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	

3 地域包括支援センター

(1) 介護予防ケアマネジメント業務

①要支援1.2と認定された方に介護予防支援および第1号介護予防支援に関するケアマネジャー調整、計画作成を行った。

高齢者いきいき元気センター	居宅介護支援事業所（委託件数）
2,024件	4,721件

②自立支援型地域ケア会議（QOL向上について多職種で検討する会議）を開催し、自立支援型ケアマネジメントの向上を図った。

開催回数	検討件数
41回	55件

(2) 総合相談支援事業

①高齢者いきいき元気センターの相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数（延べ）		363	403	399	417	408	421	453	415	508	451	437	387	5,062
受付 形態	電話	219	232	243	222	258	253	260	231	285	295	296	273	3,067
	訪問	108	139	120	156	117	133	143	136	181	125	106	87	1,551
	来所	36	32	36	39	33	35	50	48	42	31	35	27	444
	本人	65	113	90	122	73	92	95	57	97	70	63	59	996

相談 経路	家族親族	136	133	138	129	151	139	134	135	168	147	166	149	1,725
	居宅介護支援専門員	47	48	37	54	38	56	65	61	83	95	53	60	697
	民生・児童委員	14	21	17	11	14	11	22	24	14	15	15	3	181
	病院・医師	32	21	37	35	30	32	43	39	43	34	57	41	444
	事業所（者）	13	4	10	9	6	15	14	13	16	10	23	14	147
	関係機関	17	17	28	19	35	30	32	24	13	30	25	18	288
	その他	19	31	17	28	48	39	30	41	56	42	35	36	422
相談 内容	高齢者虐待	17	9	14	33	11	8	2	10	20	32	8	10	174
	権利擁護相談	3	2	3	4	4	3	0	1	1	3	3	0	27
	住宅改修	13	16	9	13	21	9	7	16	13	8	19	30	174
	処遇困難	17	38	23	27	21	40	36	29	34	40	36	36	377
	介護支援専門員支援 相談	20	11	22	27	24	40	29	29	33	21	42	46	344
	介護保険申請代行	43	33	60	54	47	69	77	50	54	56	50	57	650
	介護保険関係(在宅)	147	160	160	131	166	173	195	143	176	184	187	148	1,970
	介護保険関係(施設)	1	3	3	18	17	18	23	25	4	13	18	29	172
	ケア会議	0	4	1	0	0	1	2	1	1	1	0	0	11
	経済支援	0	6	2	0	9	1	7	10	3	6	6	3	53
	認知症	34	35	27	35	32	45	49	31	52	40	48	42	470
	その他	170	207	179	181	187	168	178	161	245	163	189	155	2,183

②地域包括支援センターランチとの会議や、市内の一人暮らしの方の見守り（地域あんしん事業）の会議を開催し連携を図った。

◎地域包括支援センターランチ連携会議の開催

開催年月日・場所	検討内容
5月24日 柏原市立健康福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告について 平成31年度事業計画について 市からの連絡事項
9月27日 柏原市立健康福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 相談実績報告 啓発活動及び虐待防止ネットワーク参加について 市内小学校への認知症サポーター養成講座について
3月27日 柏原市立健康福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期

（3）権利擁護事業

①障がい者虐待防止センターと合同で会議、研修会を開催した。

◎高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議

開催年月日・場所	内容	参加者
10月31日 柏原市立健康福祉センター	協議事項：柏原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク研修会について 報告事項：高齢者・障害者虐待実績報告、対応	19名

	事例報告、権利擁護サポートセンターによる事例報告	
--	--------------------------	--

◎柏原市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議 研修会

開催年月日・場所	内容	参加者
2月6日 柏原市立健康福祉センター	柏原市内の一般市民、介護保険事業所・障害事業所を対象に研修を開催 「認知症の理解について・虐待につながる介護者（家族）の心理や状況、負担軽減策・周囲の方の関わりやサポートの方法」 講師：関西福祉科学大学 三田村 知子 氏	52名

◎虐待防止連携会議

柏原市役所、障がい者虐待防止センター、高齢者いきいき元気センターにより月1回会議を行い、ネットワークに関することや虐待事例について検討した。

②成年後見制度や消費者被害の防止の啓発のため、柏原市老人クラブ連合会や市と協力し研修会や相談対応を行った。

◎啓発活動

開催年月日・場所	内容	参加者
7月9日 柏原市立健康福祉センター	柏原市老人クラブ連合会シニア大学と共同 「消費者問題・見守り講座」 講師：関西消費者協会 山口 晴美 氏	67名
9月16日 リビエールホール	柏原市高齢介護課に協力 「柏原市高齢者福祉大会」 消費者被害の予防について啓発	
9月17日 柏原市立健康福祉センター	柏原市老人クラブ連合会シニア大学と共同 「相続と遺言と後見について」 講師：リーガルサポート大阪 司法書士 二見 文敏 氏	58名

(4) 継続的、包括的マネジメント業務

①介護支援専門員からの相談や研修会を予定し、後方支援を行った。

◎介護支援専門員への後方支援相談件数：延べ 344件

◎介護保険事業所研修会

開催年月日・場所	内容
3月25日 柏原市立健康福祉センター	「加齢に負けない生活動作の工夫」 講師：関西福祉科学大学准教授 由利 禄巳 氏 花王株式会社生活コミュニケーションセンター * 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期

②多職種連携の充実を図るために各会議や研修会を開催し高齢者支援体制づくりを行った。

◎医療・介護連携研究会の開催

開催年月日・場所	内容	参加者
11月22日 柏原市立健康福祉センター	三師会、病院、医療関係者、介護支援専門員、介護福祉関係者により研修会を開催	57名

—	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療、介護連携推進事業について ・柏原病院より情報提供 ・グループワーク 	
---	---	--

◎医療・介護連携検討会(いかしてネットかしわら)の開催

開催年月日・場所	検討内容	参加者
11月22日 柏原市立健康福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の振り返り ・今後の検討会や研修会のあり方について 	12名

◎認知症対応型共同生活介護・地域密着型通所介護運営推進会議参加状況

事業所名(認知症対応型共同生活介護)	回数
グループホーム神田イン国分	4回
グループホーム柏原	5回
グループホームここから柏原	5回
グループホームかがやき	5回
地域密着型高齢者施設太寿	5回
ういるグループホーム柏原	4回
グループホームはくとう	5回
小規模多機能型ホームエブリー柏原国分	3回
事業所名(地域密着型通所介護)	回数
でいる一む・かがやき	2回
デイサービスあきやまじゅく	1回
デイサービスステーション四葉	1回
ういるデイサービス柏原	1回

◎四市(柏原市・羽曳野市・松原市・藤井寺市)地域包括支援センター懇談会

開催年月日	検討内容
10月30日 藤井寺市立福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門部会からの報告 ・増税、制度改正に伴うプラン委託料の変更の有無 ・包括担当予防プラン件数と委託先の確保について

③大阪介護支援専門員協会柏原支部の事務局として支部活動の後方支援を行った。

◎大阪介護支援専門員協会柏原支部の活動

開催年月日・場所	内容
6月19日 柏原市立市民プラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・通常総会 ・講演会「変化に気づき介護と医療をつなぐ確認シートの手引きの活用について」 講師：大阪介護支援専門員協会 副会長 中辻 朋博氏
11月18日 柏原市立健康福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会 市内の特定事業所加算を取っている居宅介護支援事業所と協力して開催
1月14日 柏原市立健康福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症VR体験 パナソニック電工エイジフリーと協力して開催
1月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・映画「ピア」上映会 大阪介護支援専門員協会第Ⅲブロック主催で、末期癌の看

リビエールホール	取りを考えるをテーマに映画上映会を開催
----------	---------------------

(5) 地域ケア会議の充実による個別課題の解決と地域課題の把握

①地域あんしん事業や介護支援専門員からの相談について個別ケア会議を開催し、個別支援について検討した。

開催年月日	地域包括支援センター以外の参加者
10月18日	CSW、藤井寺保健所、日常生活自立支援事業専門員、民生委員、見守り専門員
10月25日	地域包括支援センターランチ、民生委員、見守り専門員、市役所高齢介護課
11月27日	介護支援専門員、医師、看護師、訪問介護、福祉用具事業所、日常生活自立支援事業専門員
12月25日	介護支援専門員、看護師、訪問介護、日常生活自立支援事業専門員、市役所高齢介護課、生活保護ケースワーカー
1月10日	CSW、介護支援専門員、地域包括支援センターランチ、市役所高齢介護課、生活保護ケースワーカー、見守り専門員
1月17日	民生委員、地域包括支援センターランチ、見守り専門員、認知症地域支援推進員、市役所高齢介護課

②包括保健師看護師を軸に多職種連携による、市内の集いや介護予防の場として、百歳体操のサロンを立ち上げ、社会資源開発に努めた。

4 高齢者対策の強化

(1) 健康寿命の延伸

①地域介護予防推進員の養成講座の開催

要介護状態にならないように介護予防と健康・生きがいづくりの啓発を行い、その活動のリーダーとなる人を養成するための講座を開催した。

開催年月日	項目	講師
5月28日 柏原市立健康福祉センター	・オリエンテーション ・介護予防について	柏原市社会福祉協議会 保健師・看護師
6月4日 柏原市立健康福祉センター	・柏原市いきいき百歳体操 ・地域介護予防サロンの立ち上げ方	柏原市社会福祉協議会 保健師・看護師
6月11日 柏原市立健康福祉センター	・体力測定について	関西福祉科学大学 教授 重森 健太氏
6月17日 柏原市立健康福祉センター	・レクリエーションについて	関西福祉科学大学 准教授 一村 小百合
6月25日 柏原市立健康福祉センター	・口腔衛生講座	歯科衛生士 野田 順子氏
7月2日 柏原市立健康福祉センター	・栄養講座 ・認知症について	柏原市高齢介護課 管理栄養士 柏原市社会福祉協議会 認知症地域支援推進員
7月9日 柏原市立健康福祉センター	・介護予防サロンの実際 ・ボランティア活動について	市民ボランティア団体 柏原市社会福祉協議会

	・閉講式	ボランティアセンター
--	------	------------

②いきいき百歳体操、地域介護予防サロンの充実による居場所づくり

◎地域サロンでの柏原市いきいき百歳体操実施状況

新規立ち上げ数	13 団体
地域サロン総数	56 団体

◎地域介護予防教室

地域で実施している介護予防教室の活動支援を行った。

教室名	開催場所	内容
いきいきサロン	柏原市立健康福祉センター	音楽活動、健康講話
いきいきサロン若返り	柏原市立健康福祉センター 今町老人会館	運動指導士による運動
旭ヶ丘3、4丁目サロン	旭ヶ丘3、4丁目会館	音楽活動等
物忘れ予防サロン	柏原市立健康福祉センター	簡単算数、パズル等
敬寿会サロン	円明老人会館	運動指導士による運動
青谷サロン	堅上コミュニティ会館	健康講話とラジオ体操
ふれあいの家ほのぼの	ふれあいの家ほのぼの	音楽活動、健康講話、脳トレ、 柏原市いきいき百歳体操等
あすなるサロン	旭ヶ丘3丁目第1区会館	健康講座、音楽レク等 柏原市いきいき百歳体操
いきいき元気古町サロン	柏原南コミュニティ会館	健康講話、認知症レク等 柏原市いきいき百歳体操

◎柏原市立健康福祉センターでの柏原市いきいき百歳体操の実施

市内へのいきいき百歳体操の啓発普及のため、包括保健師、看護師がボランティアと協力し実施した。

開催数	延べ参加者数
19 回	303 人

◎市内の柏原市いきいき百歳体操のサロンや地域介護予防教室へ包括保健師、看護師等が出前講座を行い、介護予防の普及啓発に努めた。

出張先	出前講座回数
百歳体操サロン	129 回
地域介護予防教室	20 回
その他	9 回

③「カフェほのぼの」の活動支援（共同募金）

	開催数	延べ参加者数
カフェほのぼの（問屋場亭）	20 回	197 人

（2）認知症対策の強化

①認知症総合支援事業の推進

◎認知症地域支援推進員への相談件数 延べ 303 件

◎認知症サポーター養成講座

開催数	延べ養成人数
16回	679人

◎認知症カフェ（健康寿命の延伸項目参照）、認知症家族介護者の会の運営（家族者支援の充実項目参照）

◎物忘れ相談会の実施

市内の認知症サポート医と連携し、市民からの物忘れについて個別に相談会を実施した。

開催年月日	場所	認知症サポート医	相談者数
12月19日	ふれあいステーション	国分病院 木下 秀一郎 先生	3名

◎認知症関連協力団体会議の実施

市内の認知症関連の各団体の代表と、認知症啓発についての会議を開催した。

開催年月日	場所	参加団体
8月19日	柏原市立健康福祉センター	柏原市医師会、国分病院、八尾こころのホスピタル、大阪介護支援専門員協会柏原支部、地域密着型サービス事業所連絡会、柏原市介護保険デイサービス事業所連絡会、認知症家族介護者の会いどばた、介護予防サポーターズ、柏原市高齢介護課、柏原市高齢者いきいき元気センター、認知症地域支援推進員

②認知症初期集中支援チームの活動実施

認知症サポート医、認知症地域支援推進員、包括保健師・看護師にて、認知症の疑いがあり、支援に繋がっていない方への初期支援を行った。

チーム対応件数	1件
---------	----

(3) 介護者支援の充実

①在宅高齢者・障がい者配食サービス

食事作りが困難な在宅の高齢者や重度障がい者に対して、栄養のバランスのとれた食事の定期的な提供を通じて栄養改善による健康の維持、疾病の予防を図るとともに、配食時に安否確認などを行うことにより、高齢者等の在宅生活を支援することを目的としてサービスを提供した。

○月曜日～金曜日の毎日、ボランティアが中心となって調理し、個別に配食した。

年間延配食数	7,873 食	年間利用実人員	79 人
年間配食日数	241 日	独居高齢者	66 人
高齢者配食数	7,415 食	高齢者のみ世帯	4 人
障がい者配食数	458 食	昼間独居高齢者	6 人
		障がい者	3 人
調理ボランティア数	73 人	配食ボランティア数	26 人

○視察研修会 6月1日（明治なるほどファクトリー、47名参加）

○調理ボランティア班長会議 4回開催

②介護用品支給事業（高齢者オムツ助成）の運営

対象	支給額	延べ利用者数
高齢者(介護度3以上、非課税世帯)	1ヶ月あたり5,000円を限度	333人

③認知症家族介護者の会「カフェいどばた」の支援(共同募金)

毎月火曜日に開催し、認知症当事者の家族同士の情報交換を行った。

	開催数	延べ参加者数
カフェいどばた(ふれあい館オガタ)	9回	82人

④介護者教室

柏原市老人クラブ連合会のシニア大学と協力し排泄介助について実際にオムツ用品を見てもらいながら実施した。

開催年月日 場所	内容
10月15日 健康福祉センター	「排泄ケアについて」 講師：株式会社セレクト 富田 竜也氏

(4) 団体活動の支援

◎柏原市老人クラブ連合会事務局の運営

おおむね60歳以上の高齢者の心身の健康の保持に資するための教養講座、レクリエーションその他教養・健康増進活動のために高齢者が自主的かつ積極的に参加することができることを目的とした事業を実施し、その支援を行った。

老人クラブ単位数	会員数
52クラブ	2,854人

○活動内容

活動内容	日時	参加者数
各単位クラブ補助金申請手続	4月～	52団体
総会	5月17日	48名
シルバーヘルススポーツ講習会	5月～10月(全8回)	延べ198名
シニア大学	5月～11月(全10回)	延べ579名
高齢者福祉作品展	7月30、31日	延べ212名
高齢者福祉大会 リビエールホール(大ホール)	9月16日	380名
高齢者演芸大会 リビエールホール(小ホール)	11月6日	350名
新年互例会	令和2年1月23日	27名

○大阪府老人クラブ連合会各種事業への参加

(5) 地域見守りネットワークの構築

◎地域あんしん事業

一人暮らし台帳登録をされている高齢者のうち、希望される方や見守りの必要な方に対して見守り訪問や相談対応、会議を行った。

	エリア会議	訪問件数
柏原地区	12回	606件
堅下地区	12回	432件
国分、堅上地区	12回	489件
合計	36回	1,527件

その他、4月26日に全体会議を開催し、前年度の報告と今年度の計画について検討した。

5 「介護・障害福祉サービス事業のあり方検討委員会」の継続

今後の具体的な事業方針を打ち出すため、「介護保険・障害福祉サービス事業あり方検討委員会」を継続し検討を重ねた。今年度で検討委員会としては終了し、次年度以降は事務局会議の中で課題を検討していくよう最終報告書に明記した。

委員会の開催	(4月24日、10月30日、2月28日) 計3回
事務局会議の開催	介護保険事業(9月27日、1月28日) 計2回 障害福祉サービス事業(10月2日、12月6日) 計2回

6 介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業

○ケアプランかしわら

特定事業所加算Ⅱの取得継続のために加算要件維持に努め、また認定調査依頼も積極的に受けることで、事業基盤の安定化を図った。更に医療機関との連携を密に行い、入退院時における情報共有を行うことで、利用者の安心と確実な加算の取得につながった。新規の利用者の確保に向けて藤井寺市・羽曳野市・八尾市方面の医療機関へ「ほのぼのさぼーとノート」を配布し営業を実施してきた。

○職員体制(令和2年3月末現在)

	常勤	非常勤	常勤換算 5.6名
管理者兼主任介護支援専門員	1名		
介護支援専門員	3名	2名	

○介護度別利用状況(令和2年3月末現在)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
17	16	56	36	15	13	8	161人

○要介護認定調査

他市町からの委託分	合計17件
-----------	-------

○各加算件数

特定事業所加算Ⅱ	初回加算	医療連携加算	退院退所加算
1,606	53	72	14

○新規相談件数

合計53件

家族・本人	病院関係	地域包括支援センター	その他
12	9	27	11

○アンケート調査

実施期間	配布数	回収数	回収率
9月～10月	129	123	95.3

○ホームページの更新(アンケート集計結果の報告等)

○介護支援専門員実務研修実習受け入れ 0名

○ケアプランこくぶ

特定事業所として主任介護支援専門員を配置し、令和元年度より特定事業所加算(Ⅱ)を取得し事業の安定を図った。また、医療機関など多機関との連携を重点的に実施することで、円滑な入退院支援につないだ。更に、地域包括支援センタープラン

チの一つ「ランチこくぶ」としては、国分地区の地域住民を中心に相談があり、必要に応じて関係機関と連携を図りながら介護保険制度だけにとどまらない柔軟な相談対応を実践した。

○職員体制

	常勤	非常勤
管理者	1名	
主任介護支援専門員	1名	1名
介護支援専門員	2名	0名

常勤換算 4.8名

○介護度別利用状況（令和2年3月末現在）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
14	17	68	32	15	10	11	167人

○要介護認定調査

他市町からの委託分	合計 22件
-----------	--------

○各加算件数

特定事業所加算Ⅱ	初回加算	医療連携加算	退院退所加算
1,554	42	61	36

○アンケート調査

実施期間	配布数	回収数	回収率
9月～10月	145	132	91.0%

○地域包括支援センターランチこくぶ 相談受付件数

本人	家族・親族	介護支援専門員	民生委員	合計
9	23	0	2	
病院・医師	事業所	地域包括支援センター等 関係機関	その他	
12	5	29	4	

○介護支援専門員実務研修実習受け入れ 1名

(2) 訪問看護事業

○訪問看護ステーションかしわら

介護保険法・健康保険法による指定を受けたステーションとして、医療的支援が必要な利用者や、がん末期患者、神経難病患者、重度障がい者等に看護サービスを行った。また、緊急時訪問看護加算(医療では24時間対応体制加算)を算定できる体制を維持し、療養者が安心して在宅生活を送れるようかかりつけ医と連携を図りながら支援した。また、介護支援専門員協会や訪問看護ステーション協会主催のイベントへ参加し、関係機関との連携強化を目指した。

○職員体制(令和2年3月末現在)

	常勤	非常勤
管理者	1名	0名
看護師	3名	2名
理学療法士	0名	4名

○介護度別利用状況（令和2年3月末現在）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計

2	3	10	7	5	9	10	0	46人
---	---	----	---	---	---	----	---	-----

○医療保険利用状況（令和元年度 延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
後期高齢	3	4	3	7	4	4	5	5	5	7	8	7	62人
医療保険	6	6	6	6	7	7	7	10	10	8	10	8	91人

○月別利用状況

介護保険請求対象者

（令和元年度 訪問延べ回数。但し、理学療法士の訪問は20分毎に1回カウント）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
507	506	459	529	487	541	518	455	450	431	469	490	5,842回

医療保険対象者（令和元年度 訪問延べ回数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
136	116	104	127	127	97	95	108	79	104	87	125	1,305回

○主な会議の出席状況

内容	回数
大阪府訪問看護ステーション協会 中河内ブロック管理者会議	5回
医療でつなぐ地域連携ネットワーク	2回
柏原市看看連携会	4回
合計	11回

○アンケート調査

	実施期間	配布数	回収数	回収率
継続利用者	9月1日～10月31日	51	49	96.1%

○ホームページの更新、訪問看護通信の発行

訪問看護の取り組みやトピックスを「ほのぼの通信」として利用者・関係機関に向けて年2回発行し、合わせてホームページも年2回更新した。

○内部研修

災害、薬について等、日々の業務に役立つ研修会を年2回実施

○訪問看護電話相談

地域の医療・介護職からの相談件数 7件

○実習生の受け入れ

関西看護専門学校実習生 10名

(3) 訪問介護事業

○ヘルパーステーションかしわら

介護保険・障がい福祉サービスとともに、自立支援に重点をおいたサービスを提供することで在宅生活が継続できるよう、多職種との連携を強化してきた。また、訪問介護2事業所間の連携を図り、ミニ研修や全体研修を通じ各自のスキルアップや、サービス提供責任者の後任者育成にも重点をおいて取り組んだ。

○職員体制

	資格	常勤	非常勤	登録ヘルパー
管理者(サ責兼務)	介護福祉士	1名		
サービス提供責任者 訪問事業責任者	介護福祉士	2名	3名	
訪問介護員	介護福祉士	0名	1名	15名 (内3名こくぶ兼務)
	看護師			1名
	ヘルパー2級	0名	0名	9名
	初任者研修 (うち実務者 研修修了者)	0名	0名	4名 (2名)

サービス提供責任者5名 訪問介護員30名 介護福祉士資格取得者率60%

○介護保険法ヘルパー派遣事業

要介護・要支援の認定を受けた高齢者にサービスを提供

○介護度別利用者状況(令和2年3月末現在)

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用者数	16	21	17	9	1	6	3	73名
利用延べ回数	98	154	154	86	2	67	57	618回

○障がい者総合支援法ヘルパー派遣事業

「居宅介護」「重度訪問介護」「同行援護」、柏原市地域生活支援事業に基づいた「移動支援サービス」のサービスを提供

○障がい者の利用者状況(令和2年3月末現在)

サービス種別	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	移動支援	合計
利用者数	39	2	5	3	49名
利用延べ回数	435	79	31	17	562回

○アンケート調査(福祉事業課合同で実施)

サービス区分	実施期間	配布数	回収数	回収率
介護保険	9月～10月	77	76	98%
障がい福祉サービス		46	45	98%

○ヘルパーステーションこくぶ

介護保険・障がいサービスともに、自立支援の視点をもって、利用者の自己決定を尊重しながら状況に応じて支援した。また、利用者が住み慣れた家で過ごせるように、ご家族や関係機関との連携を密に行った。全体研修(かしわら・こくぶ合同)では「法令遵守」「危険予測」の事例を元に研修し、知識向上に努めた。

○職員体制

	資格	常勤	非常勤	登録ヘルパー
管理者	介護福祉士	1名		
サービス提供責任者 訪問事業責任者	介護福祉士	1名	2名	
訪問介護員		0名	2名	8名

	介護福祉士			(内3名かしわら兼務)
	実務者研修終了	0名	0名	2名
	ヘルパー2級	0名	0名	5名
	初任者研修	0名	0名	1名

介護福祉士資格取得率 50%

○介護保険法ヘルパー派遣事業

要介護・要支援の認定を受けた高齢者にサービスを提供

○介護度別利用者状況（令和2年3月末現在）

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用者数	9	4	11	9	4	2	3	42名
利用延べ回数	45	33	81	145	83	25	22	434回

○障がい者総合支援法ヘルパー派遣事業

「居宅介護」「重度訪問介護」「同行援護」、柏原市地域生活支援事業に基づき、「移動支援サービス」のサービスを提供

○障がい者の利用者状況（令和2年3月末現在）

サービス種別	居宅介護	重度訪問介護	同行援護	移動支援	合計
利用者数	25	1	3	5	34名
利用延べ回数	260	72	8	37	377回

○アンケート調査(福祉事業課合同で実施)

サービス区分	実施期間	配布数	回収数	回収率
介護保険	9月～10月	43	43	100%
障がい福祉サービス		33	33	100%

【以下、ヘルパーステーションかしわら・こくぶ2事業所の報告事項】

○柏原市育児支援家庭訪問事業受託実績（2事業所での実績）

柏原市からの受託事業として、産後8週間以内の産婦に対してサービスを提供
利用状況・・・4件（利用合計時間：27時間30分）

○内部ミニ研修（登録ヘルパーを含めた情報共有・人材育成の場として活用）

実施月	研修内容
4月	法令遵守、個人情報の保護
7月	熱中症について
8月	災害について（災害訓練含む）
9月	認知症について
10月	虐待について
11月	冬の感染症
2月	全体研修(グループワーク、法令遵守について、口腔ケアについて)

7 障がい者支援事業（委託）

(1) 柏原市療育教室

①発達に弱さのある子どもたちの成長・発達促進

それぞれの幼児の発達段階や障がいの違い（身体的・知的）に応じてより細やかな療育に取り組めるように2つのグループに分けて保育を行った。

うさぎグループ（1,2歳児中心、親子同室保育）

ぱんだグループ（2,3歳児、一部親子分離保育）

感覚あそび、散歩、運動遊び、水遊び、製作などに取り組んだ。また、季節に応じた行事を実施。

○月別利用状況（児童数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ぱんだ	55	70	87	64	106	115	124	125	130	126	129	42	1,173
うさぎ	16	36	47	66	42	43	71	60	69	70	77	24	621
合計	71	106	134	130	148	158	195	185	199	196	206	66	1,794
日数	17	19	21	22	18	19	22	20	20	19	18	16	231

②保護者の思いに寄り添った適切な支援

家庭訪問件数…22件

子どもの生き立ちや家庭環境・生活環境を把握することで、支援の方向性を考えると共に、保護者の困りごとや教室では話しにくい相談事など保護者の思いに寄り添う支援に取り組んだ。保護者対へは障がい受容など、特に対応が必要な場合に随時時間を作って対応した。

③ 包括的支援の実施

柏原市障害者自立支援協議会こども部会に参加し、医療機関や他事業所と連携し、また互いの施設見学も実施した。（療育教室の公開保育は新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止。）

（2）肢体不自由児訓練事業

運動発達に障がいや遅れなどのある児童に運動能力の改善として機能訓練を行い、保護者には日常生活のなかで活かせるように指導を提供した。

○在籍児 2名（令和2年3月末現在）

乳児	幼児	小学生	中学生	高校生
0人	0人	1人	0人	1人

○利用状況

開室日数	16日		
利用人数	延べ12人		
	内訳	機能訓練	延べ 12人
		相談	延べ 0人
		診察	延べ 0人

*機能訓練：月1回を原則に個別に60分間、理学療法士による運動機能訓練を基本に行う。

*診察：嘱託医による定期診察を希望があれば年1回実施。

*相談：随時。

8 障害福祉サービス事業（自主事業）

（1）生活介護

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日含む	12人	利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った自立の促進、生活の向上を図る。
開所日数	のべ利用者数	活動内容

257日	2231人	個別の機能訓練、集団体操・レクリエーション、生産活動、外出、誕生日会、季節の行事の開催
------	-------	---

契約者数18名（内新規契約者2名）令和2年3月31日現在

- ① 手芸・籐工芸・ハーモニカ・イベントなどのボランティア、ボランティア体験プログラム1名、職業体験、介護実習等の受入れにより市民との交流の実施。
- ② 自主製品の販売を通じた地域交流の実施。年間売り上げ18,100円

（2）児童発達支援

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日除く	10人	利用者が日常生活における基本動作および知識技能を習得し、ならびに集団生活に適應することができるよう適切な指導及び訓練を行う。
開所日数	のべ利用者数	活動内容
241日	729人	昼食(持参の弁当)の介助を行う。咀嚼や飲み込みのトレーニングをする。午睡をとらせ生活リズムを整える。個々の児童に適したコミュニケーション方法を使うための援助を行う。小集団での遊びを通して社会性を身に着ける。

○令和2年3月31日廃止

（3）就労継続支援B型

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日含む	28人	利用者が地域との関わりを持ち、働くことに生きる喜びを感じながら、生活の向上、自立を図ることを目的とする。
開所日数	のべ利用者数	作業内容
257日	4,206人	帯つけ、ラベル貼り、袋詰め等個々に合わせた作業（5社契約中）

契約者数24名（内新規契約者1名）令和2年3月31日現在

- ① 個々にあわせた作業を基本とした技能向上
様々な作業の中から個別にあわせた作業を提供。就労支援事業収入2,534,104円
平均工賃月額8,381円
- ② 部会や研修会への積極的な参加
 - 柏原市作業所連絡会親会議 実行委員会
 - 柏原市作業所連絡会主催の文化祭・ボウリング大会に参加。
 - 市内他事業所の行事に模擬店を出店。

（4）指定特定相談支援・障害児相談支援

障がい者やその家族の方に対し、障がい福祉サービスの情報提供・利用援助等、計画に基づいた地域における生活支援を実施するため、柏原市障害者基幹相談支援センターによる相談体制を強化した。また、柏原市障害者自立支援協議会の各専門部会(相談、子ども、日中・就労・くらし)と連携し、事例検討、災害対応、啓発活動、当事者・家族の情報交換等の活動を実施した。

○計画相談（令和2年3月末現在）

指定特定相談支援	障がい児相談支援	地域移行地域定着支援
146件	36件	0件